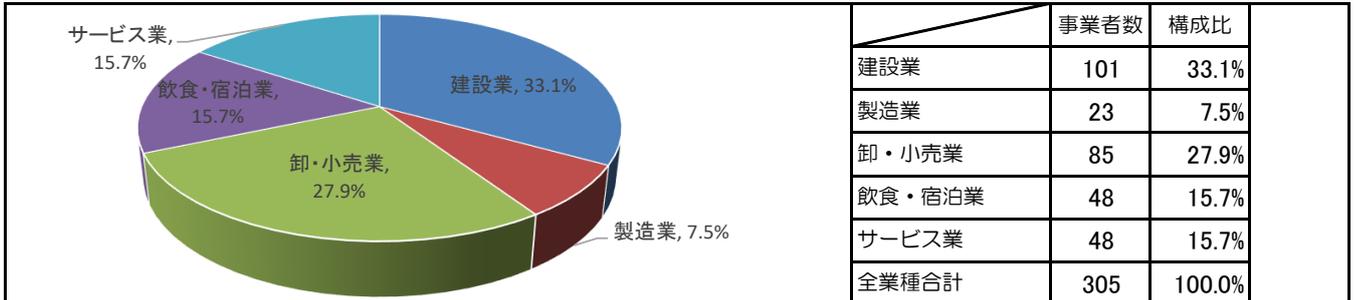


十日町市商工会地域 企業景況調査 第1四半期報告書（H31.4.1～R1.6.30）川西地区

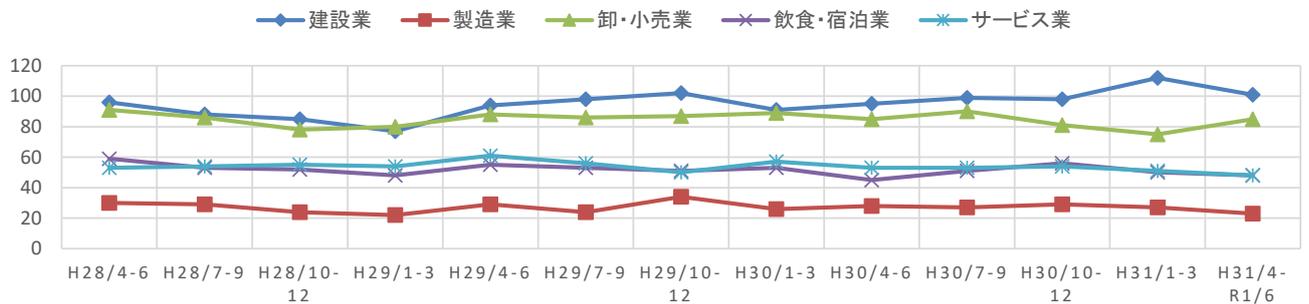
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



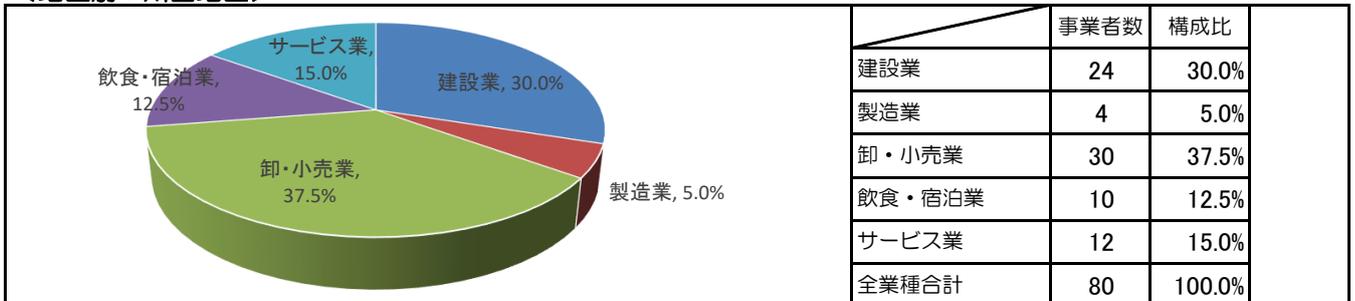
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



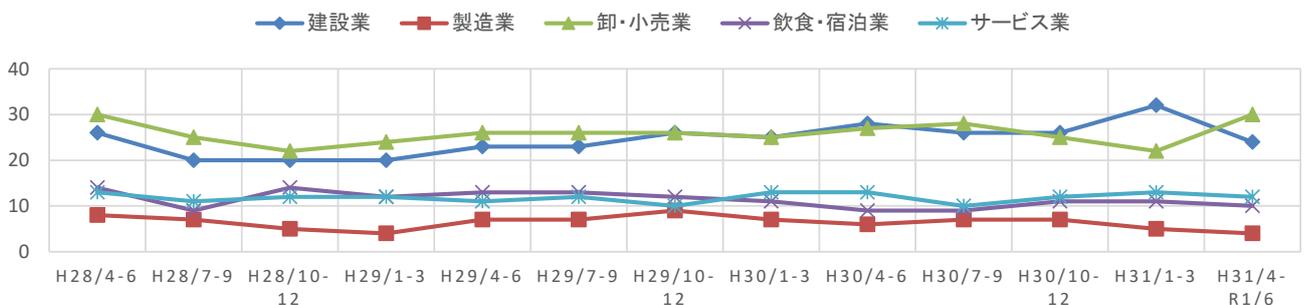
<コメント>

今回調査の回答事業所数は前回調査よりも10事業所少なかったが、十日町市内商工会地域全体（約1,000社）の約3割の事業所から回答を得ている。推移グラフでわかるとおり、前回調査で増えていた建設業が減少し、卸・小売業の回答が増加している。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

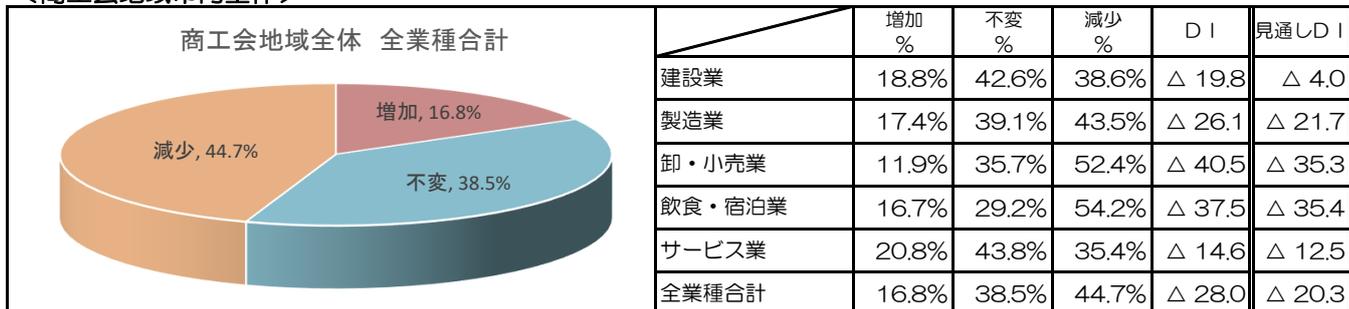
川西地区の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、80社(回収率80%)からの回答を基にした集計結果である。製造業の割合が少ないものの、これまでの調査対象事業所数と同様の数値である。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

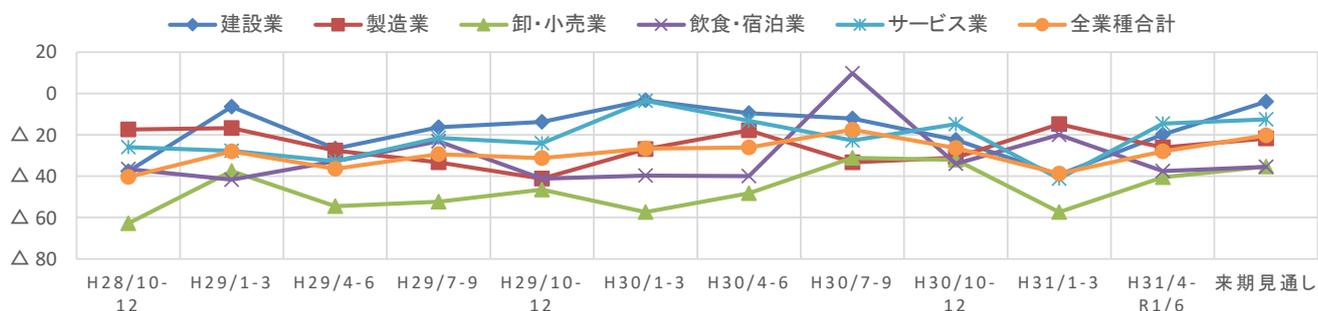
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞



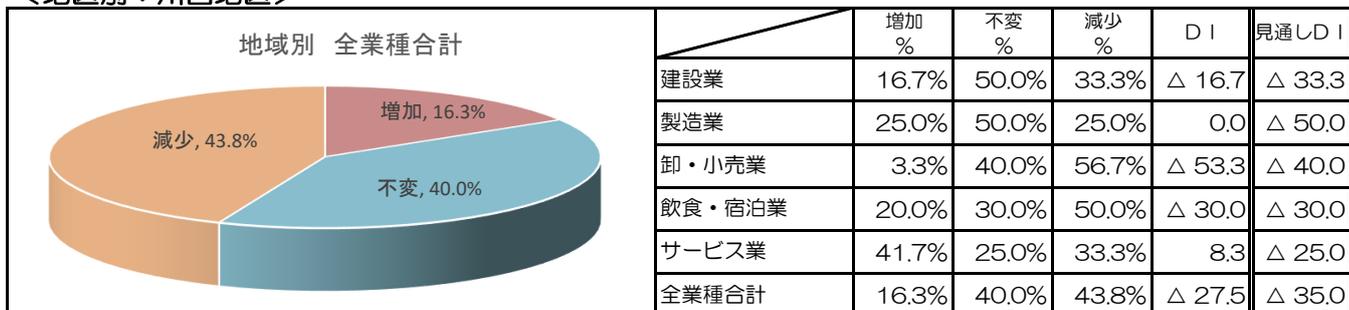
業種別売上の推移（市内全体）



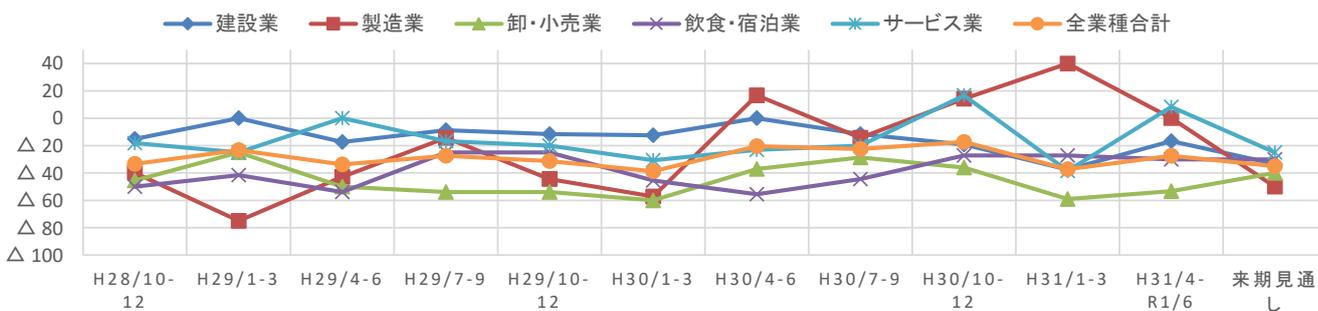
＜コメント＞

今期の市内全体の売上状況は、全業種DI値で△28.0ポイントで、前回調査時よりも10.7ポイント好転した結果となっている。業種別では、製造業と飲食・宿泊業で悪化を示していたが、その他の業種での改善値が高く全体ポイントを引き上げている。来期見通しにおいても全ての業種が今期よりも改善予測していることもあり、今後の動向に注視したい。

＜地区別：川西地区＞



業種別売上の推移（地区別）



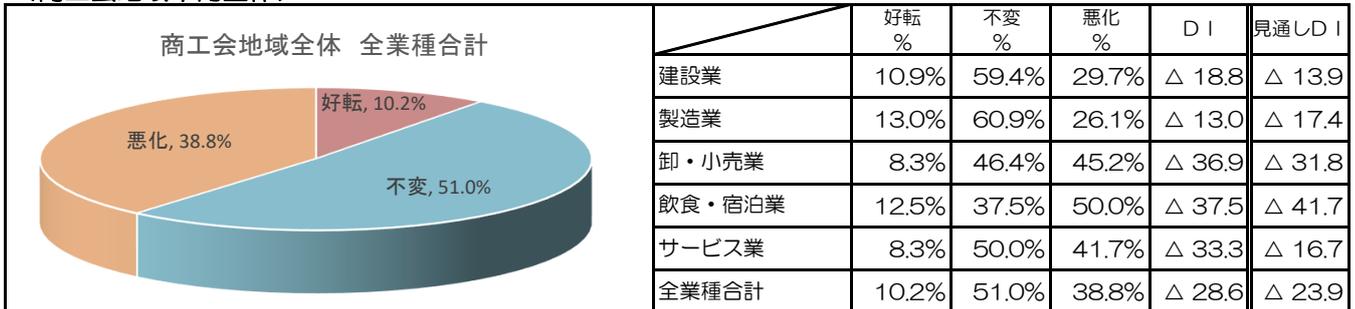
＜コメント＞

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して△27.5ポイントの減少となっている。サービス業では8.3ポイントの向上、製造業では不変を示しているが、一方で卸・小売業の減少が目立っている。来期見通しでは全業種で△7.5ポイントの悪化を予想している。

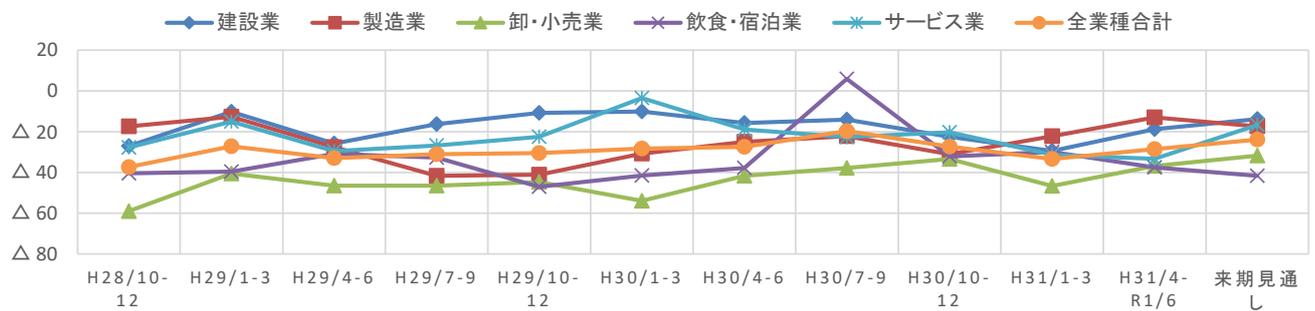
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



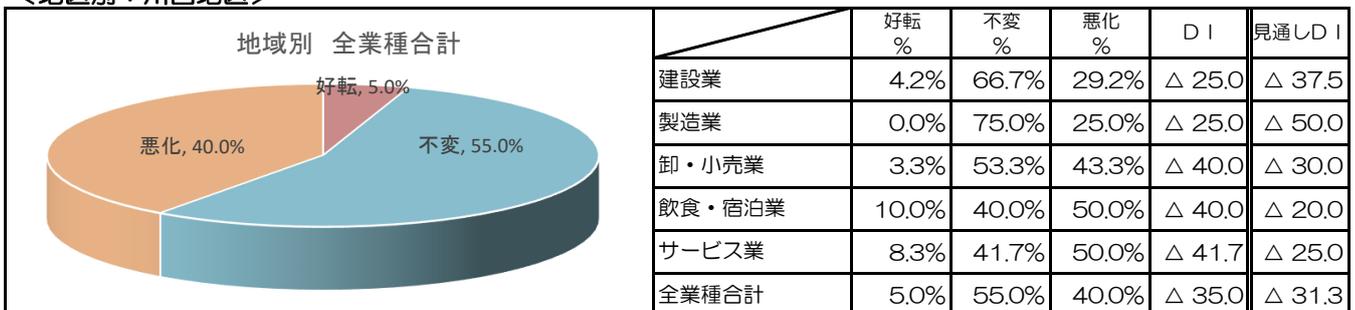
業種別採算の推移(市内全体)



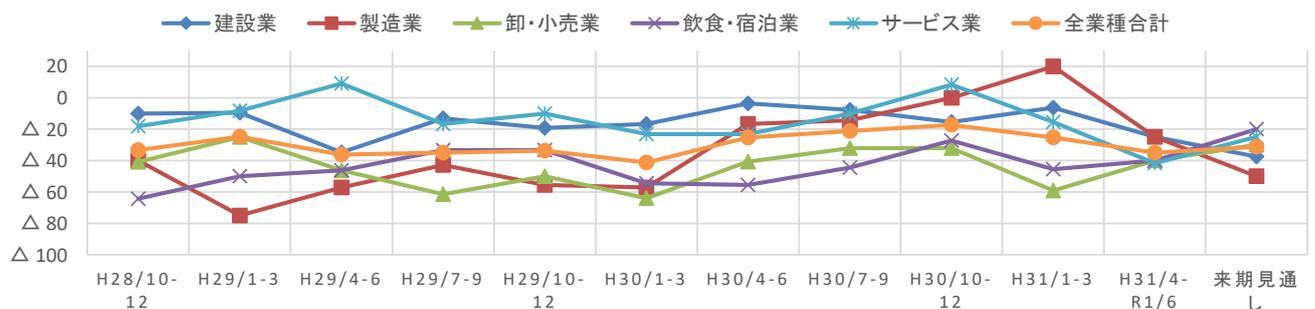
<コメント>

今期の市内全体の採算状況は、全業種DI値で△28.6ポイントであり、前回調査時よりも4.7ポイント好転となっている。業種別では飲食・宿泊業とサービス業で悪化を示しているが、その他の業種にて好転している。来期見通しでは、製造業と飲食・宿泊業で悪化予測されているものの、その他の業種で好転予測されており、全業種でのDI値も今期よりも好転を示している。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



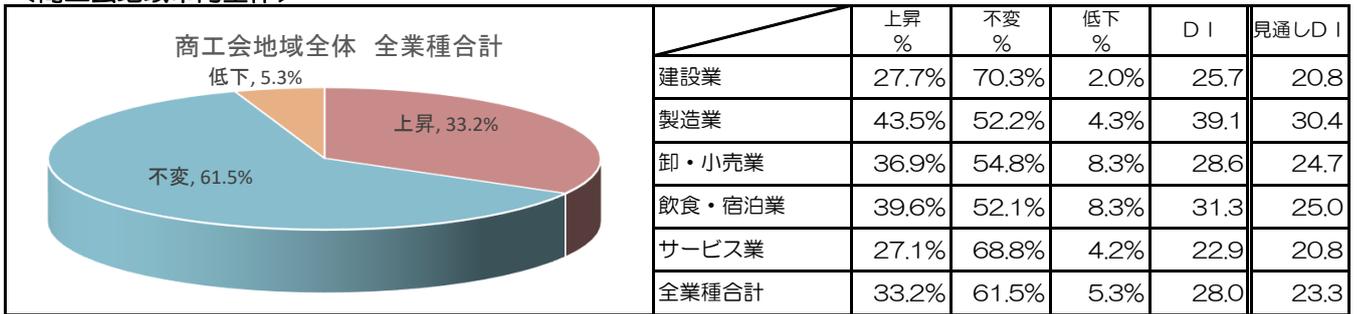
<コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較して△35.0ポイントの悪化となっている。全体的に悪化傾向であり、特に卸・小売業、飲食・宿泊業、サービス業において顕著となっている。来期見通しでは全業種で3.7ポイントの改善を予想している。

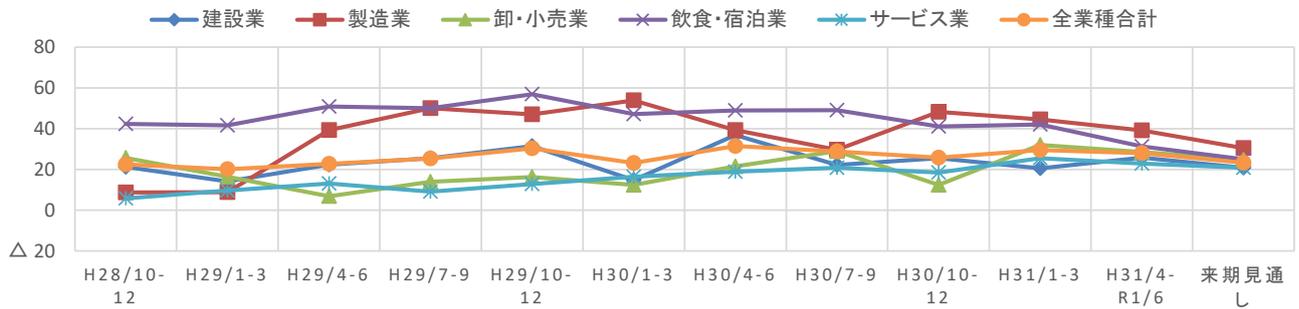
3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



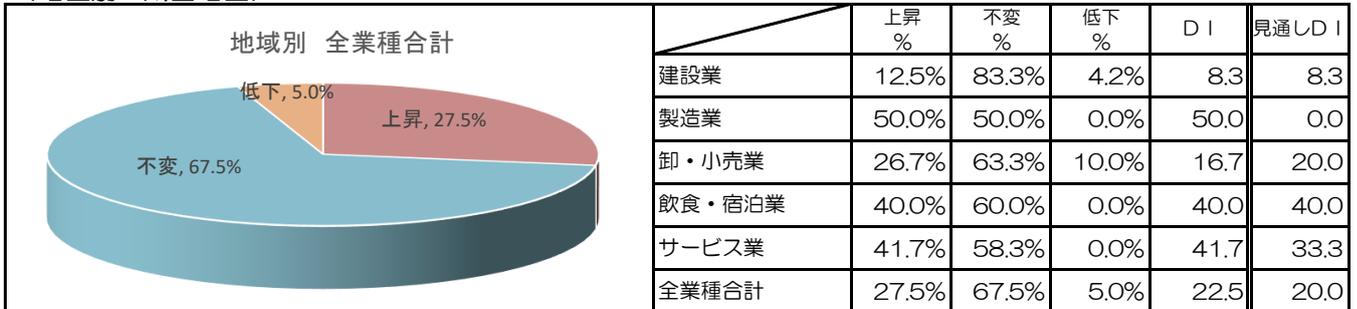
業種別仕入単価の推移(市内全体)



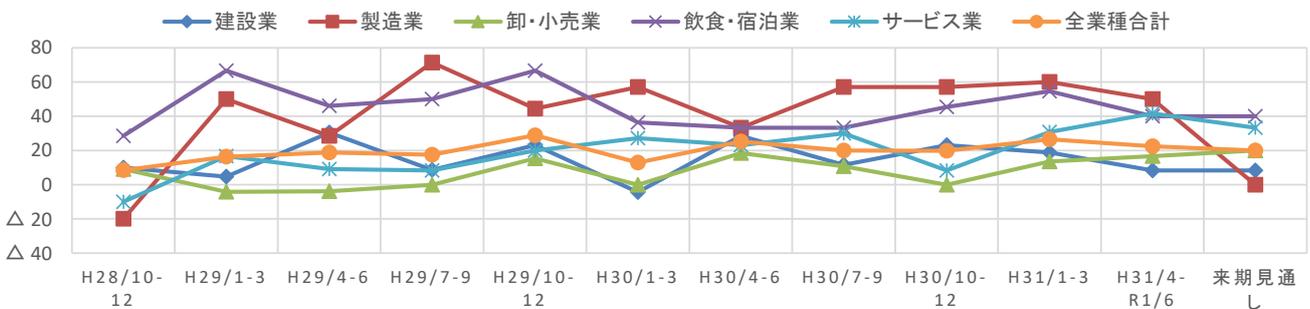
<コメント>

今期の市内全体の仕入単価の状況は、全業種DI値で28.0ポイントであり、全回調査時よりも1.5ポイント上昇となっている。業種別では、建設業での仕入単価が上昇しているものの、その他の業種は低下を示している。来期見通しにおいては全ての業種で今期よりも低下するとの予測がされており、今後の動向に注視したい。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



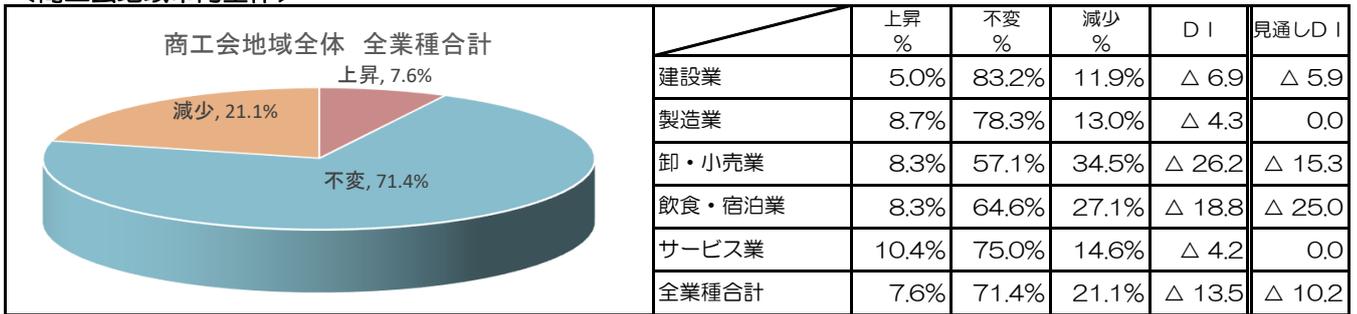
<コメント>

川西地域の仕入単価は前年同期と比較して22.5ポイントの上昇を示しており、製造業、飲食・宿泊業、サービス業における仕入単価の上昇が大きくなっている。来期見通しは全業種で2.5ポイントの仕入単価軽減が見込まれている。

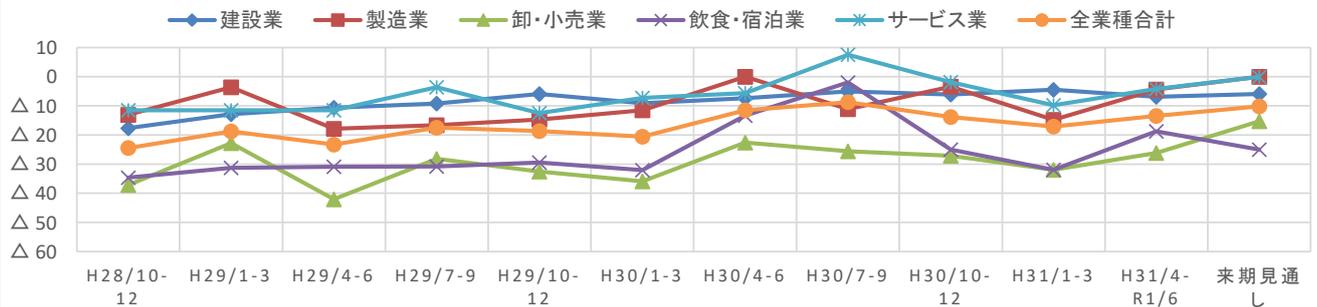
4. 販売（客）単価について

- ・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



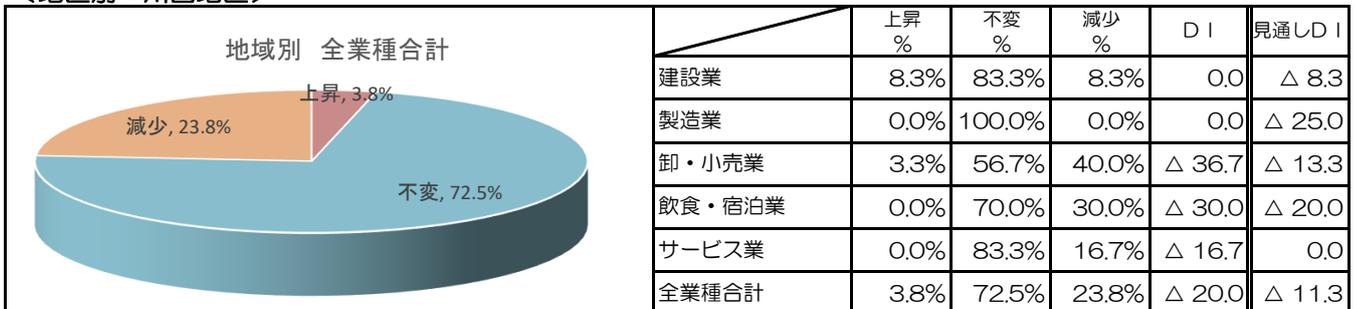
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



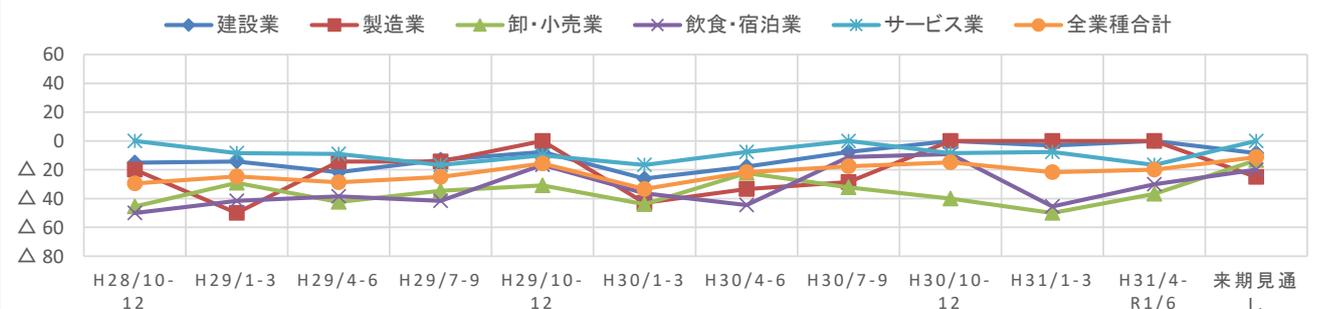
<コメント>

今期の販売（客）単価の状況は、全業種のDI値で△13.5ポイントで、前回調査時よりも3.6ポイント上昇している。業種別では建設業で若干の減少が見られたものの、その他の業種は上昇値を示している。来期見通しでは飲食・宿泊業以外の業種で今期よりも上昇予測しており、全業種でのDI値は今期よりも上昇を示している。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



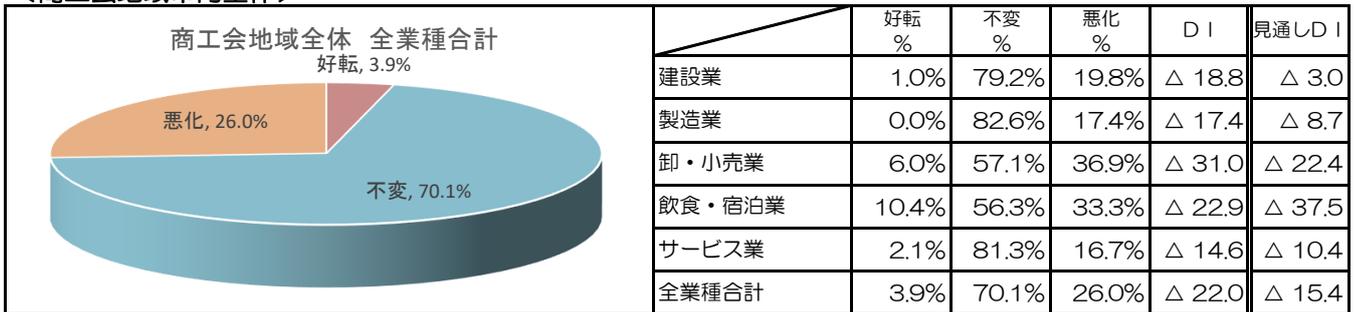
<コメント>

川西地域の販売単価は前年同期と比較して△20.0ポイントの悪化となっており、建設業、製造業は不変であるが、卸・小売業、飲食・宿泊業の悪化が大きく表れている。来期見通しでは8.7ポイントの改善が予想されている。

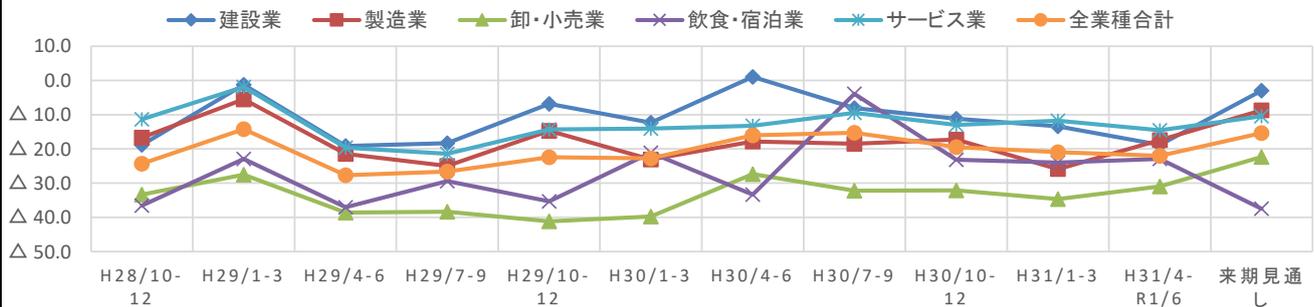
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



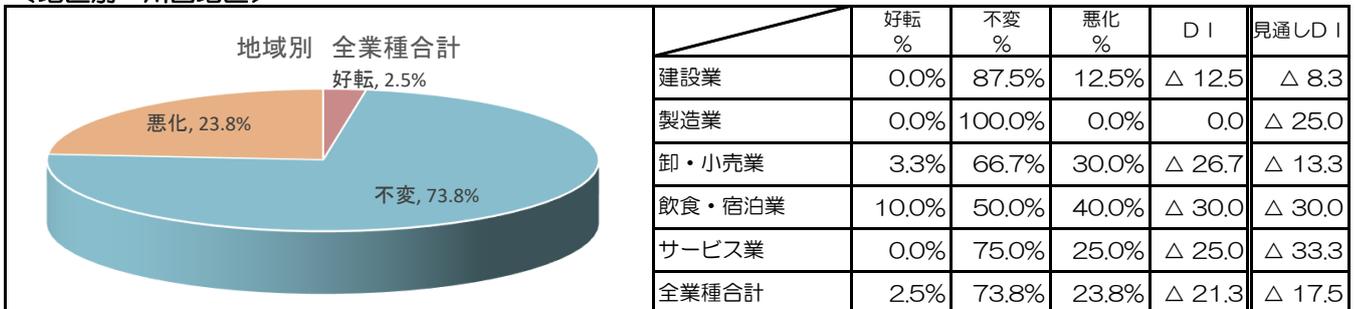
業種別資金繰りの推移(市内全体)



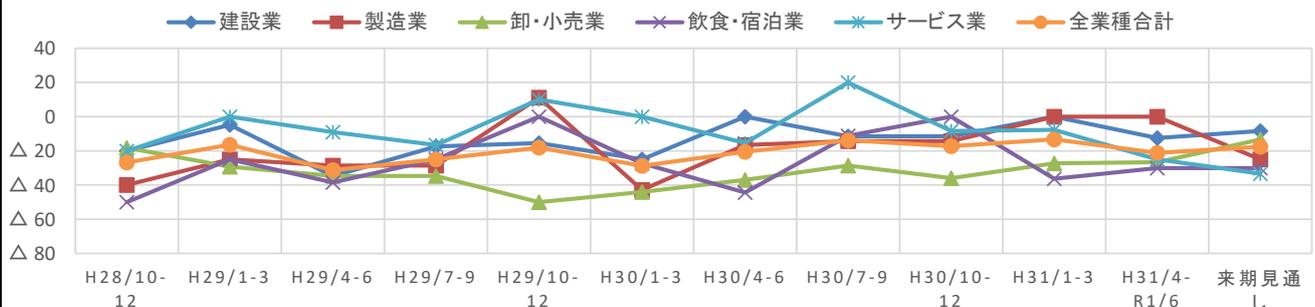
<コメント>

今期の市内全体の資金繰り状況は、全業種でのDI値で△22.0ポイントであり前回調査時よりも1.0ポイント悪化となっている。業種別では建設業とサービス業で悪化を示しているが、その他の業種は好転している。来期見通しでは全業種DI値で6.6ポイントの好転予測をしているものの、飲食・宿泊業で大きく悪化予測されており、実際の数値に注視したい。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



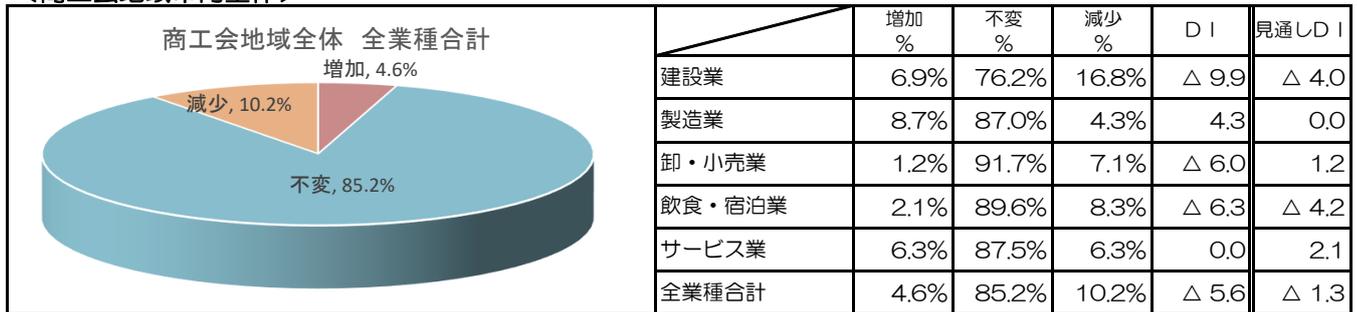
<コメント>

川西地域の資金繰りは全業種で△21.3ポイントの悪化であるが、そのような中、製造業は不変とのことであった。来期見通しは全体的に3.8ポイントの改善が見込まれている。

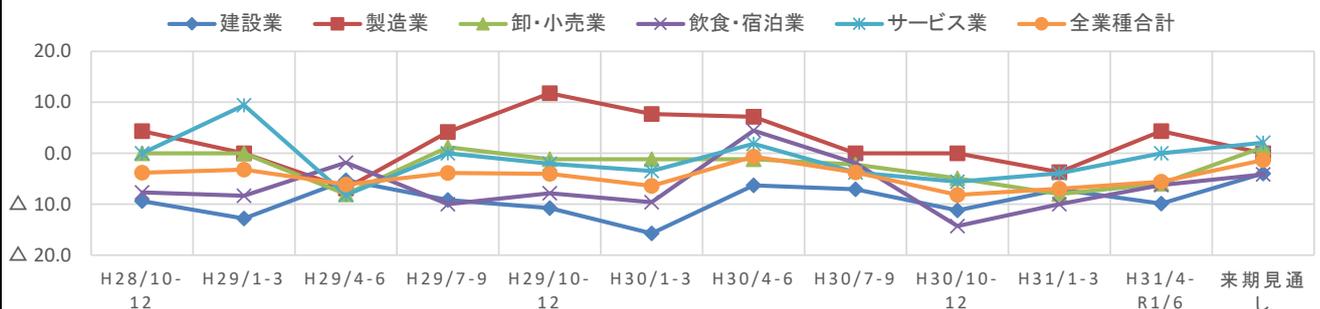
6. 従業員数について

- ・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



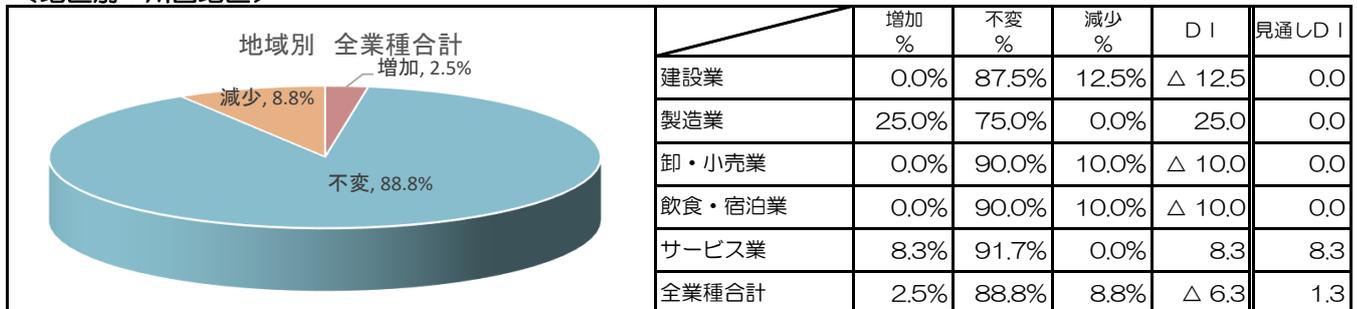
業種別従業員数の推移(市内全体)



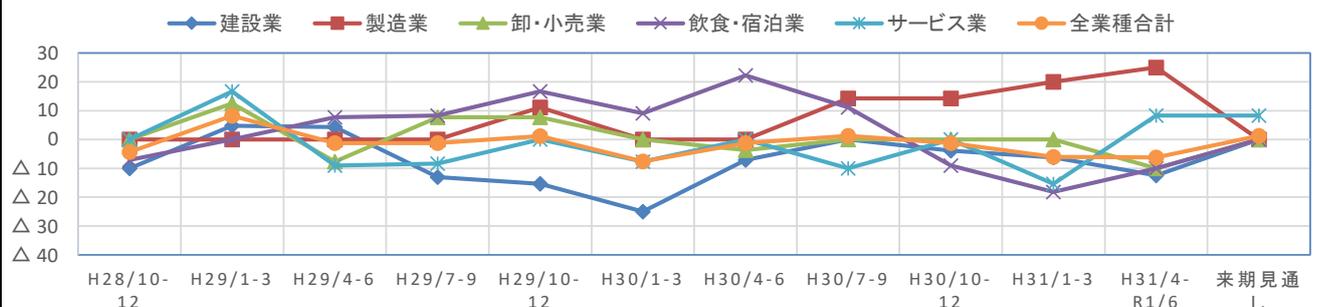
<コメント>

今期の市内全体の従業員数の状況は、全業種DI値で△5.6ポイントとなっており、前回調査時よりも1.4ポイント増加となっている。業種別では建設業で減少したものの、その他の業種で増加となっている。来期見通しでは、製造業で減少予測しているが、その他の業種で増加予測されている。

<地区別：川西地区>



業種別従業員数の推移(地区別)



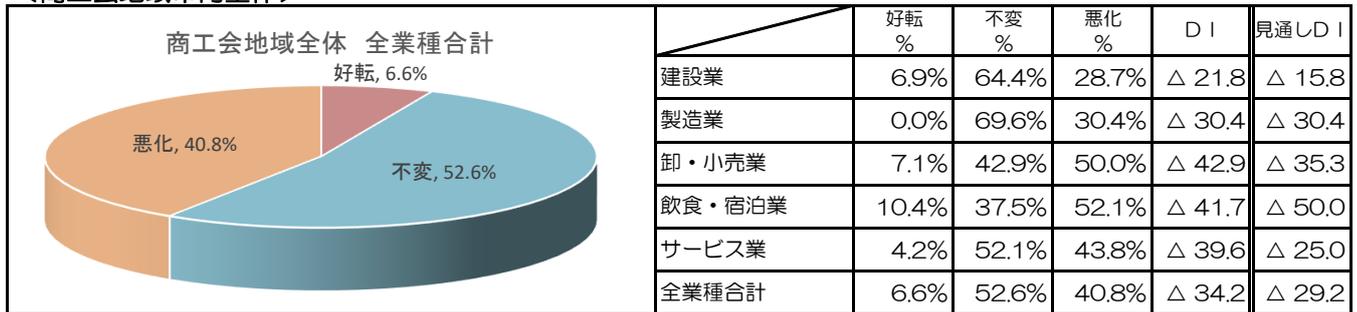
<コメント>

川西地域の従業員数は全業種で△6.3ポイントの悪化であるが、製造業、サービス業においては従業員数が増加している傾向にある。全業種から見た来期見通しとしては全体的に7.6ポイントの改善が予想されている。

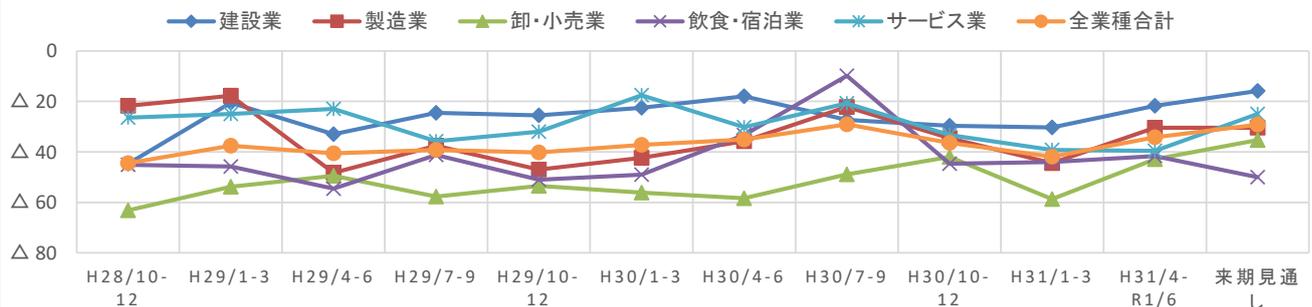
7. 景況判断について

- ・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



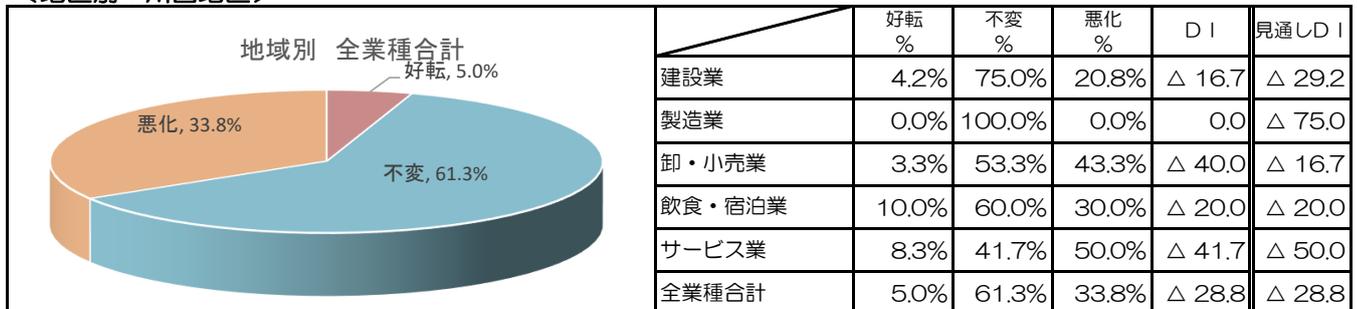
業種別景況判断の推移(市内全体)



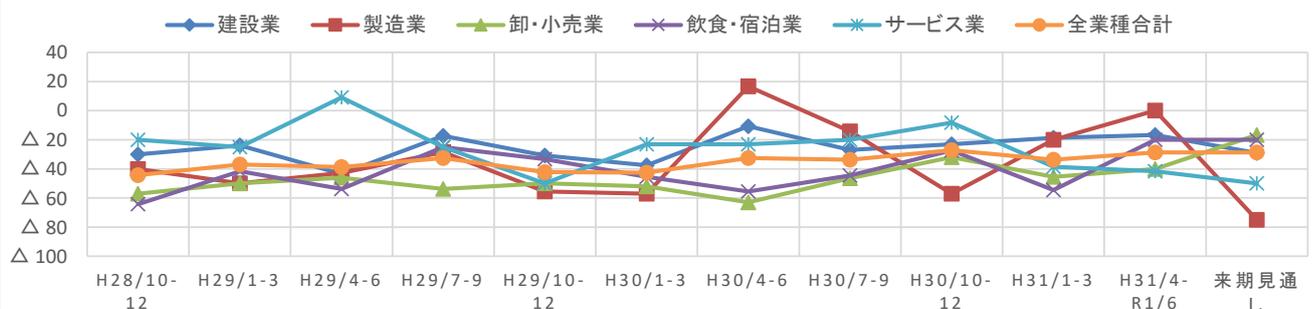
<コメント>

今期の市内全体の景況判断は、全業種DI値で△34.2ポイントとなっており、前回調査時よりも7.7ポイント好転している。業種別では、サービス業が若干の悪化を示しているが、その他の業種は好転を示している。来期見通しでは、飲食・宿泊業で悪化予測されているものの、その他の業種で好転予測があり、全業種DIは好転予測となっている。

<地区別：川西地区>



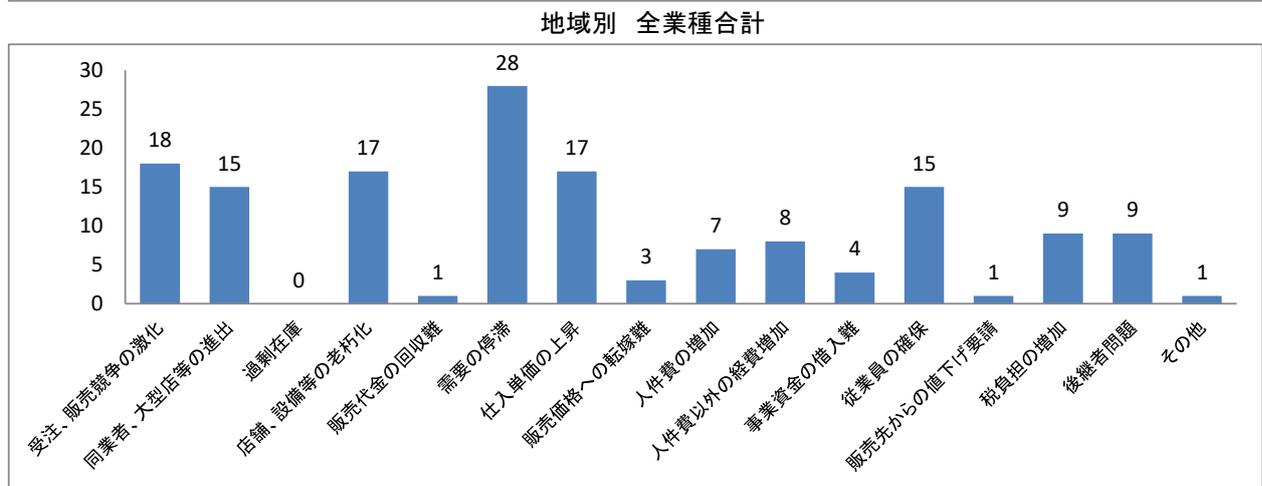
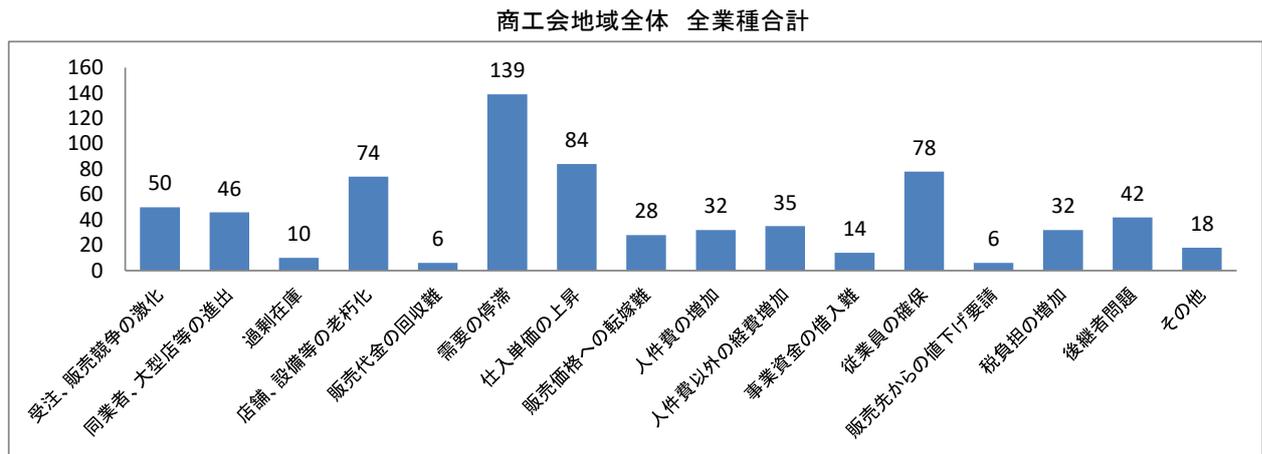
業種別景況判断の推移(地区別)



<コメント>

川西地域の景況判断としては全業種で△28.8ポイントの悪化を示しており、中でも卸・小売業、サービス業において景況感の悪化が大きくなっている。来期見通しとしては全体的に今期と不変との見方がされている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：4月～6月



<コメント>

今期調査での経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「仕入単価の上昇」3位が「従業員の確保」となっており、前回調査時と同じ結果となっている。前回と異なる部分では、4位に「店舗・設備の老朽化」が挙げられている。

川西地域内の経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「受注、販売競争の激化」3位が「店舗、設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」となっている。

9. 地区の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

【建設業】

建設業においては全体的に悪化しているとの回答が多い中、「販売単価」については前年同期と不変という結果となった。また、経営上の問題点としては1位「受注、販売競争の激化」2位「従業員の確保」3位「需要の停滞」を挙げており、従前どおり競合他社への意識及び人材の確保を考える事業所が増加傾向にある

【製造業】

製造業においては「採算」、「仕入単価」、「従業員数」において悪化を示しているものの、それ以外においては改善及び不変を示している。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」3位「仕入単価の上昇」「人件費の増加」「人件費以外の経費増加」を挙げており、製造コストが増していく中、製造設備等への投資に関心を向ける事業所が増えている。

【卸・小売業】

卸・小売業においては全体的に悪化が示されている。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」3位「受注、販売競争の激化」「仕入単価の上昇」と挙げており、管内需要が停滞する中で競合の動向を意識する状況にある。

【飲食・宿泊業】

飲食・宿泊業においても全体的に悪化の傾向が表れている。経営上の課題については1位「店舗、設備等の老朽化」、「需要の停滞」、「仕入単価の上昇」2位「販売価格の転嫁難」「人件費の増加」「人件費以外の経費増加」「従業員の確保」となっており、店舗・設備等の老朽化対策を考える事業所が増えている。

【サービス業】

サービス業においては「売上」、「従業員数」が好転している反面、「採算」、「仕入単価」、「景況判断」について大きく悪化を示している。経営上の課題については1位「店舗、設備等の老朽化」2位「仕入単価の上昇」3位「同業者、大型店舗等の進出」、「需要の停滞」、「従業員の確保」を挙げており、設備等の老朽化が進んでいる中、仕入コストの上昇に悩む事業所が増加している。